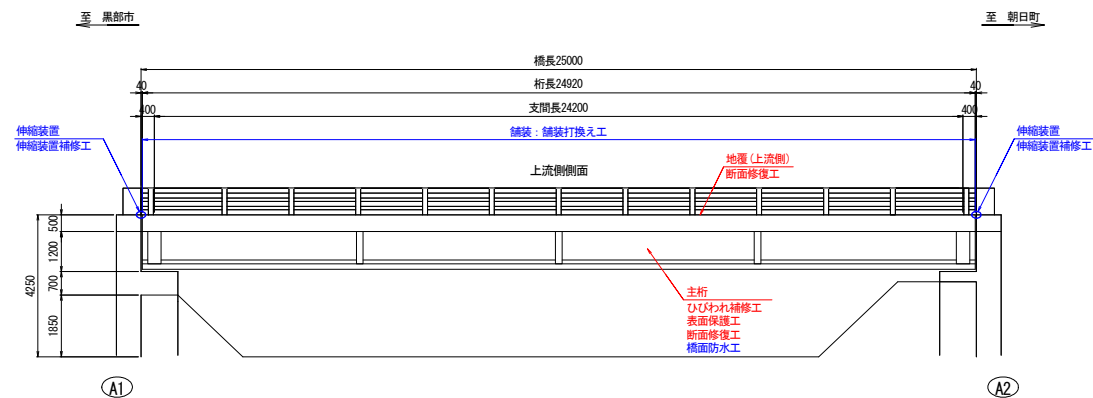


舟見横断線（新舟川橋）橋梁補修工事 位 置 図

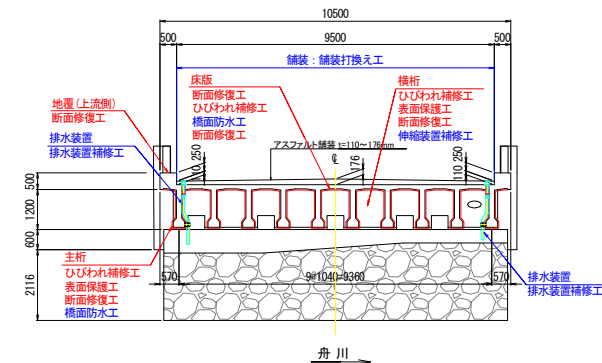


新舟川橋 補修一般図

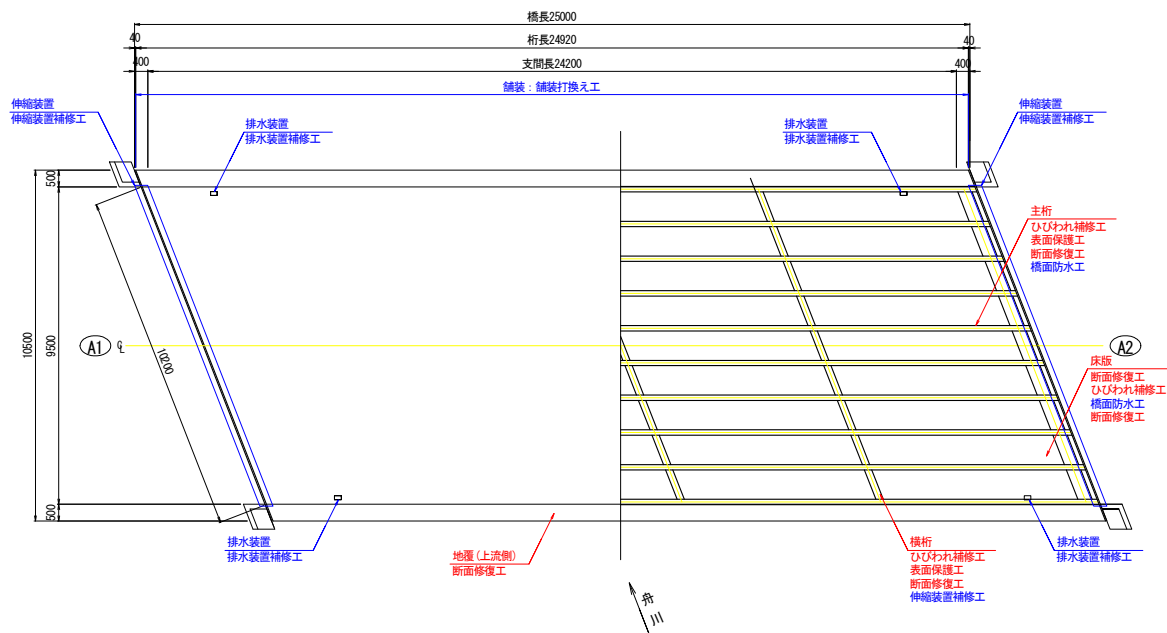
側面図 S=1:80



断面図 S=1:80



平面図 S=1:80



補修方針一覧表

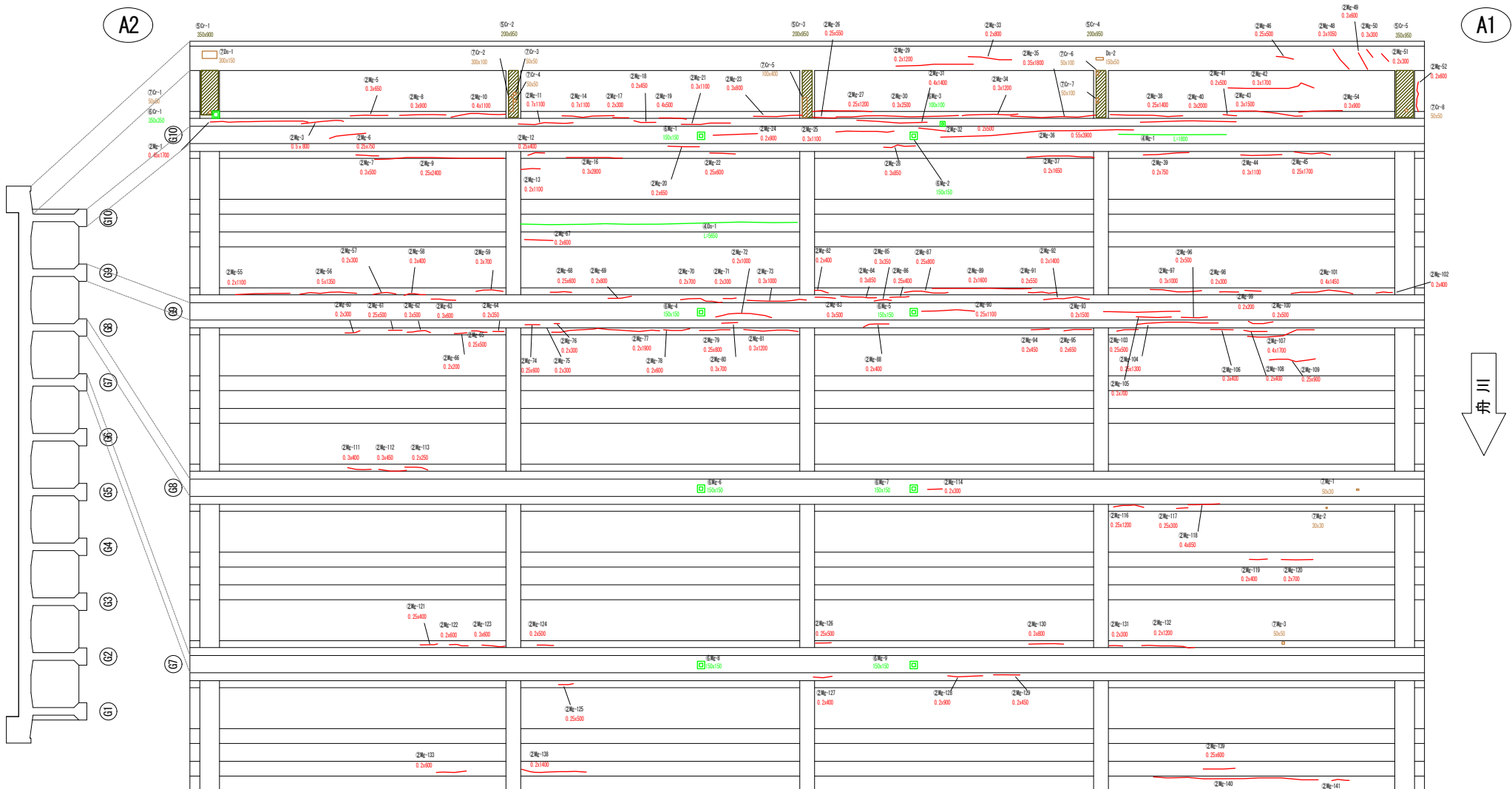
構造・部位	部 材	損傷種類	補修工	補修工法
上部工	主 桁	ひびわれ	ひびわれ補修工	ひびわれ注入工
		表面保護工	表面保護工	表面含浸工
		剥離・鉄筋露出	断面修復工	左官工法
		遊離石灰	ひびわれ補修工	ひびわれ注入工
	横 桁	ひびわれ	断面修復工	断面修復工
		剥離・鉄筋露出	断面修復工	左官工法
		漏水・遊離石灰	断面修復工	左官工法
		うき	断面修復工	左官工法
	床 版	剥離・鉄筋露出	断面修復工	左官工法
		漏水・遊離石灰	ひびわれ補修工	ひびわれ注入工
		うき	断面修復工	左官工法
		断面修復工	断面修復工	左官工法
下部工	橋 台	漏水・遊離石灰	断面修復工	断面修復工
	地 覆	剥離・鉄筋露出	断面修復工	左官工法
	伸縮装置	ひびわれ	断面修復工	断面修復工
		剥離・鉄筋露出	断面修復工	断面修復工
	舗 装	変形・欠損	舗装打換え工	舗装打換え工
	排水装置	舗装の異常	排水装置補修工	排水装置補修工

令和 4 年 度 第 号
舟見橋新線(新舟川橋)橋梁補修工事
下新川 市 入善 町 舟見 地内
工 事
新舟川橋 補修一般図
縮 尺 1/80
令和 4 年 2 月 日 製 作
入 善 町

新舟川橋 補修詳細図(その1)

S=1:40

ひびわれ補修工・断面修復工
下面(主桁・横桁・床版)



凡例

損傷番号	損傷の種類	損傷記号
①	ひびわれ1.0≦W	
②	ひびわれ0.2≦W<1.0	
④	遊離石灰を伴うひびわれ	
⑤	うき	
⑥	剥離	
⑦	鉄筋露出	
⑨	空洞・豆板/摩耗劣化	
⑪	変形・欠損	

補修数量総括表(上部工 下面)

工 種		損傷番号	規 格	単位	数 量
ひびわれ注入工	② ④		W=0.2mm以上1.0mm未満、遊離石灰を伴うひびわれ	m	300.9
			注入材(エポキシ系注入材3種)	kg	3.66
			シーリング材	kg	33.22
			低圧式自動注入治具	個	1204
ひびわれ充填工	①		W=1.0mm以上	m	-
			充填材(シーラント系充填材)	kg	-
断面修復工 (左官工法)	鉄筋露出 なし	⑥⑨⑪	コンクリートはつり体積	m3	0.0317
			ポリマーセメントモルタル	m3	0.0317
	鉄筋露出 あり	⑤ ⑦	コンクリートはつり体積	m3	0.1546
			ポリマーセメントモルタル	m3	0.1546

注記
1. 施工にあたっては詳細調査を実施し、補修数量・現地形状を再確認し、
各種補修工に反映すること。

令和 4 年度 第 号	
舟見横断線(新舟川橋)橋梁補修工事	
下新川 市 入 善 村 舟 見 地 内	
工 事	
新舟川橋 補修詳細図(その1)	30 葉中
縮 尺 1/40	第 15 号
令和 4 年 2 月 日 製 作	
入 善 町	

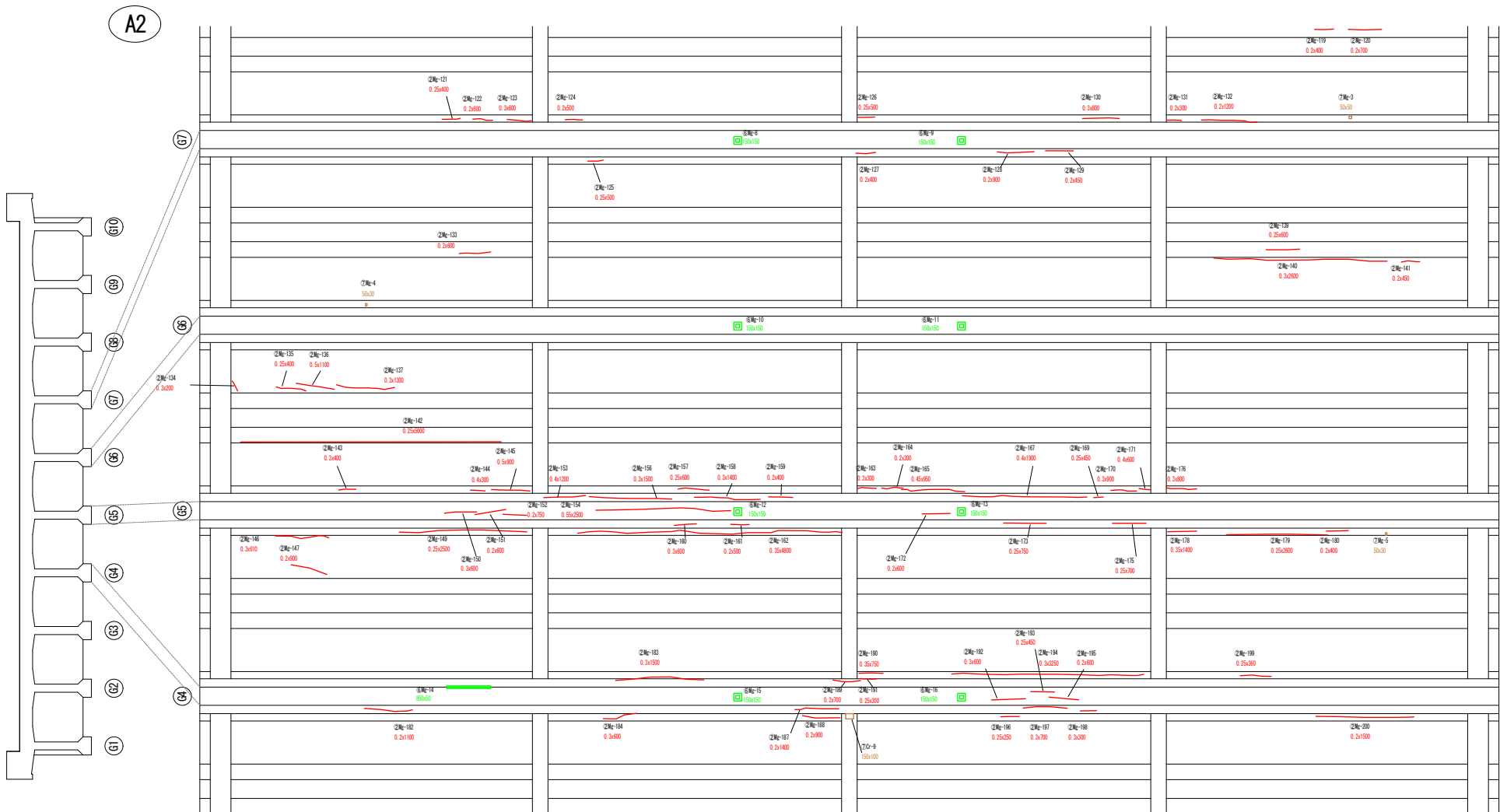
新舟川橋 補修詳細図(その2)

S=1:40

ひびわれ補修工・断面修復工
下面(主桁・横桁・床版)

A2

A1



凡例

損傷番号	損傷の種類	損傷記号
①	ひびわれ1.0≦W	
②	ひびわれ0.2≦W<1.0	
④	遊離石灰を伴うひびわれ	
⑤	うき	
⑥	剥離	
⑦	鉄筋露出	
⑨	空洞・豆板/摩耗劣化	
⑪	変形・欠損	

注記)
1. 施工にあたっては詳細調査を実施し、補修数量・現地形状を再確認し、
各種補修工に反映すること。

令和 4 年度 第 号	
舟見横断線(新舟川橋)橋梁補修工事	
下新川 市 入善 町 舟見 地内	
工事	
新舟川橋 補修詳細図(その2)	30 葉中
縮 尺 1/40	第 16 号
令和 4 年 2 月 日 製 作	
入 善 町	

S=1:40

A2

A1



損傷番号	損傷の種類	損傷記号
①	ひびわれ $1.0 \leq W$	
②	ひびわれ $0.2 \leq W < 1.0$	
④	遊離石灰を伴うひびわれ	
⑤	うき	
⑥	剥離	
⑦	鉄筋露出	
⑨	空洞・豆板/摩耗劣化	
(11)	変形・欠損	

令和 4 年 度 第 号	
舟見横断線(新舟川橋)橋梁補修工事	
下新川 市 入善 町 舟見 地内	
工事	
新舟川橋 補修詳細図(その3)	30 葉中
縮 尺 $\frac{1}{40}$	第 17 号
令和 4 年 2 月 日 製 作	
入 善 町	

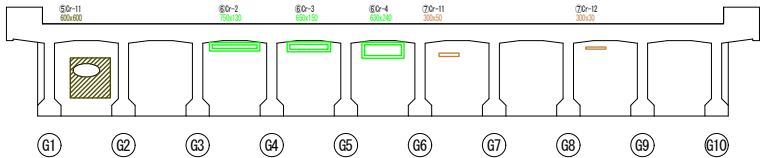
注記)
1. 施工にあたっては詳細調査を実施し、補修数量・現地形状を再確認し、各種補修工に反映すること。

新舟川橋 補修詳細図(その4)

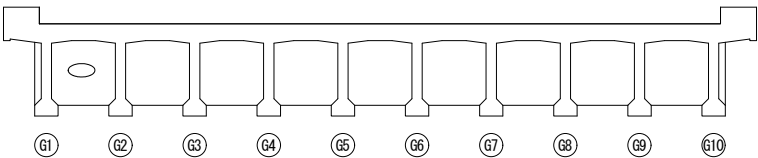
S=1:40

ひびわれ補修工・断面修復工
下面(横桁)

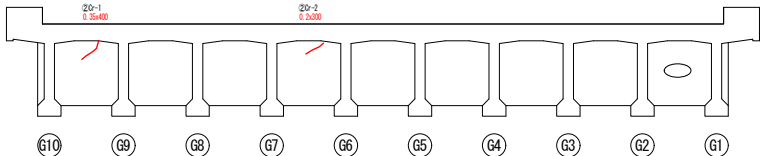
S2 (A1側)



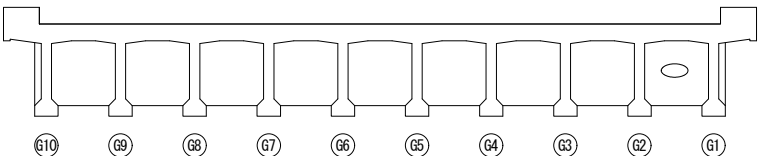
C2 (A1側)



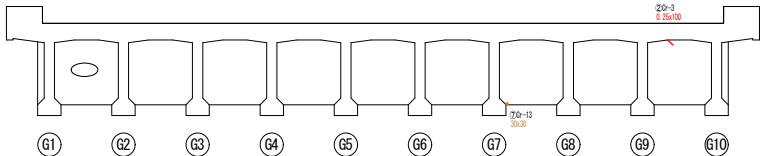
C3 (A2側)



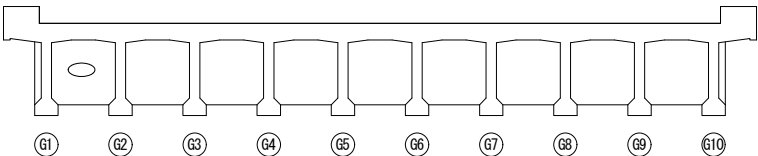
C1 (A2側)



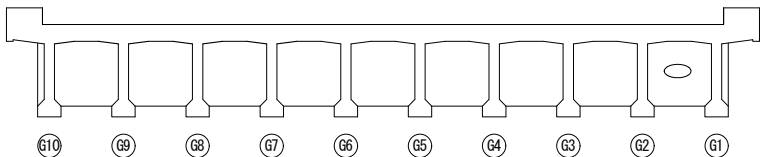
C3 (A1側)



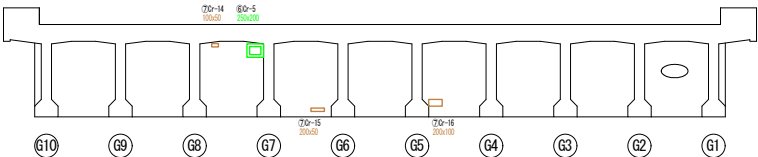
C1 (A1側)



C2 (A2側)



S1 (A2側)



凡例

損傷番号	損傷の種類	損傷記号
①	ひびわれ1.0≦W	—
②	ひびわれ0.2≦W<1.0	—
④	遊離石灰を伴うひびわれ	—
⑤	うき	—
⑥	剥離	—
⑦	鉄筋露出	—
⑨	空洞・豆板/摩耗劣化	—
⑪	変形・欠損	—

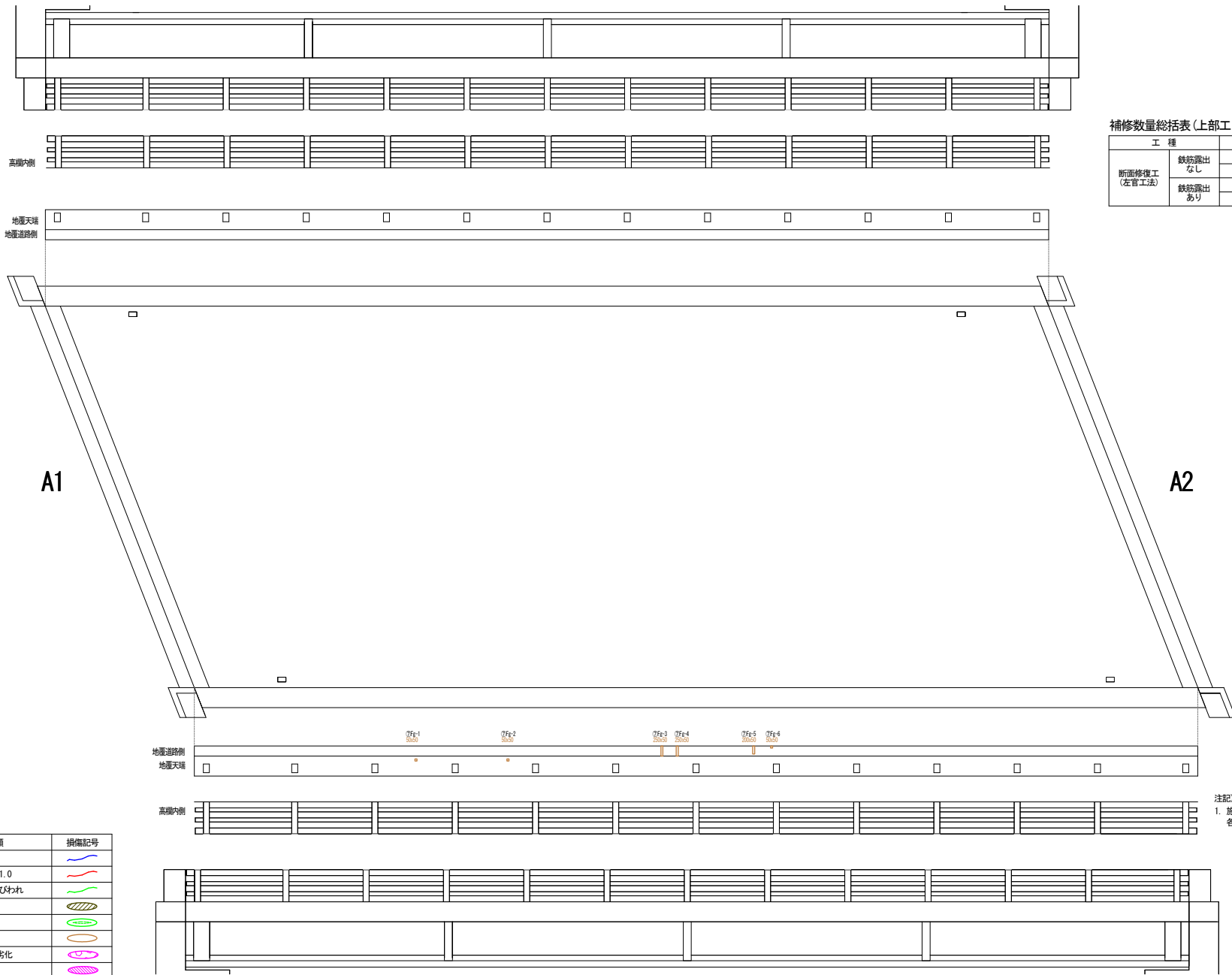
注記
1. 施工にあたっては詳細調査を実施し、補修数量・現地形状を再確認し、
各種補修工に反映すること。

令和 4 年度 第 号	
舟見横断線(新舟川橋)橋梁補修工事	
下新川 市 入善 町 舟見 地内	
工事	
新舟川橋 補修詳細図(その4)	30 葉中
縮 尺 1/40	第 18 号
令和 4 年 2 月 日 製 作	
入 善 町	

新舟川橋 補修詳細図(その5)

S=1:50

ひびわれ補修工・断面修復工
橋 面



補修数量総括表(上部工 橋面)

工 種	規 格	単 位	数 量
断面修復工 (左官工法)	鉄筋露出 なし	コンクリートはつり体積	m3 -
		ポリマーセメントモルタル	m3 -
	鉄筋露出 あり	コンクリートはつり体積	m3 0.0020
		ポリマーセメントモルタル	m3 0.0020

工 種	損傷番号
断面修復工 (左官工法)	鉄筋露出 なし ⑥⑨⑩
	鉄筋露出 あり ⑤ ⑦

凡例

損傷番号	損傷の種類	損傷記号
①	ひびわれ1.0≦W	—
②	ひびわれ0.2≦W<1.0	—
④	遊離石灰を伴うひびわれ	—
⑤	うき	〰〰〰
⑥	剥離	〰〰〰
⑦	鉄筋露出	〰〰〰
⑨	空洞・豆板/摩耗劣化	〰〰〰
⑪	変形・欠損	〰〰〰

注記)
1. 施工にあたっては詳細調査を実施し、補修数量・現地形状を再確認し、各種補修工に反映すること。

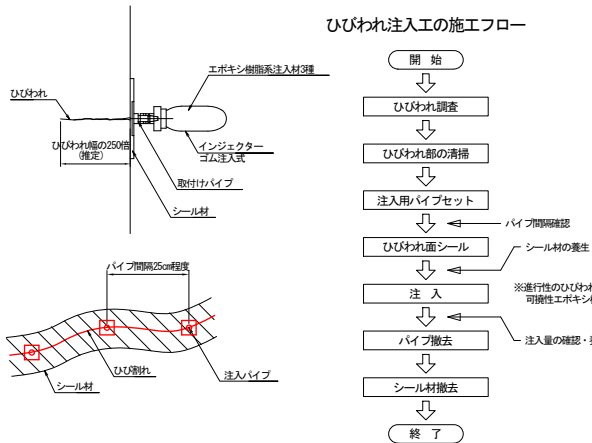
令和 4 年 度 第 号	
舟見橋断線(新舟川橋)橋梁補修工事	
下新川 市 入善 町 舟見 地内	
工 事	
新舟川橋 補修詳細図(その5)	30 葉中
縮 尺 1/50	第 19 号
令和 4 年 2 月 日 製 作	
入 善 町	

新舟川橋 補修詳細図(その6)

ひびわれ補修工・断面修復工

ひびわれ注入工

(ひびわれ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満、遊離石灰を伴うひびわれ)
(注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法)
エポキシ樹脂系注入材3種



材 料 表

工 種	仕 様
下 地 処 理	溶剤型エポキシ樹脂プライマー
断 面 修 復	可とう性エポキシ樹脂

※現地計測でひびわれ幅 が0.2mm 以上 1.0mm 未満であることが
確認された場合ひびわれ注入工を行うこと。

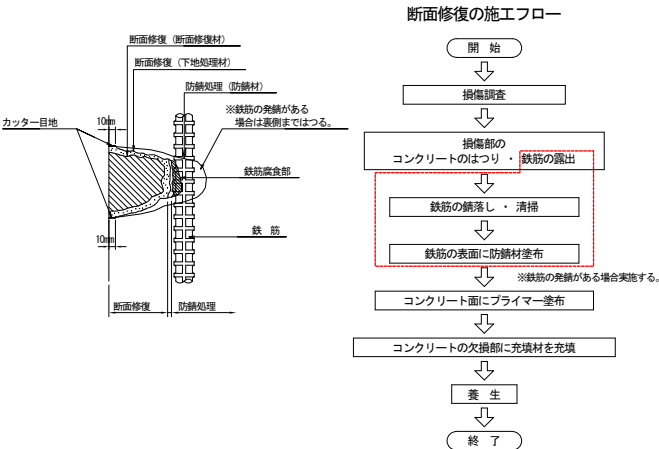
ひびわれ注入工
有機系注入材の品質

項 目	土木補修用エポキシ樹脂注入材3種
ひ び 割 れ 幅	0.2~5.0 (mm)
粘 度	1000 (mPa・s) 以下
可 使 時 間	30分以上
硬 化 時 間	24時間以内
硬 化 収 縮	0.1%以下
伸 び 率	100%以上
モルタル付着強さ (乾燥面)	6 N/mm ² 以上
付着力耐久性保持率	60%以上

※出典：コンクリートのひび割れ調査・補修・補強指針-2013-
(日本コンクリート工学会)

断面修復工

(剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損)



断面修復材の品質規格

項 目	ポリマーセメントモルタル	試 験 方 法
圧 縮 強 度	30 N/mm ² 以上	JIS A 1108
曲 げ 強 度	3 N/mm ² 以上	JIS A 1106
乾 燥 収 縮 量	20×10 ⁻⁴ 以下 (3ヵ月)	JIS A 1129
ブリーディング率	1.0%以下	土木学会規準
水 和 熱	できるだけ小さいこと	—
耐 海 水 性	浸漬後にふくれ、割れなどの変状がないこと	JIS A 5400
温冷繰返し抵抗性	浸漬後にふくれ、割れなどの変状がないこと	日本道路公団試験方法
付着強度	標 準 養 生 後	建研式付着力試験
	耐海水性試験後	
	温冷繰返し試験後	
塩化物イオン拡散係数	できるだけ小さいこと	—

※出典：コンクリートのひび割れ調査・補修・補強指針-2013-
(日本コンクリート工学会)

材 料 表

工 種	仕 様
鋼材防錆処理工	リン酸塗料・有機酸・キレート化剤等
下 地 処 理 工	ポリマーセメント系ペースト材
断 面 修 復 工	ポリマーセメント系モルタル材

防錆材品質

耐アルカリ性試験	塗膜に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強さ試験	7.8 N/mm ² 以上

令和 4 年 度 第 号	
舟見横断線(新舟川橋)橋梁補修工事	
下新川 市 入善 町 舟見 地内	
工 事	
新舟川橋 補修詳細図(その6)	30 葉中
縮 尺 1/50	第 20 号
令和 4 年 2 月 日 製 作	
入 善 町	

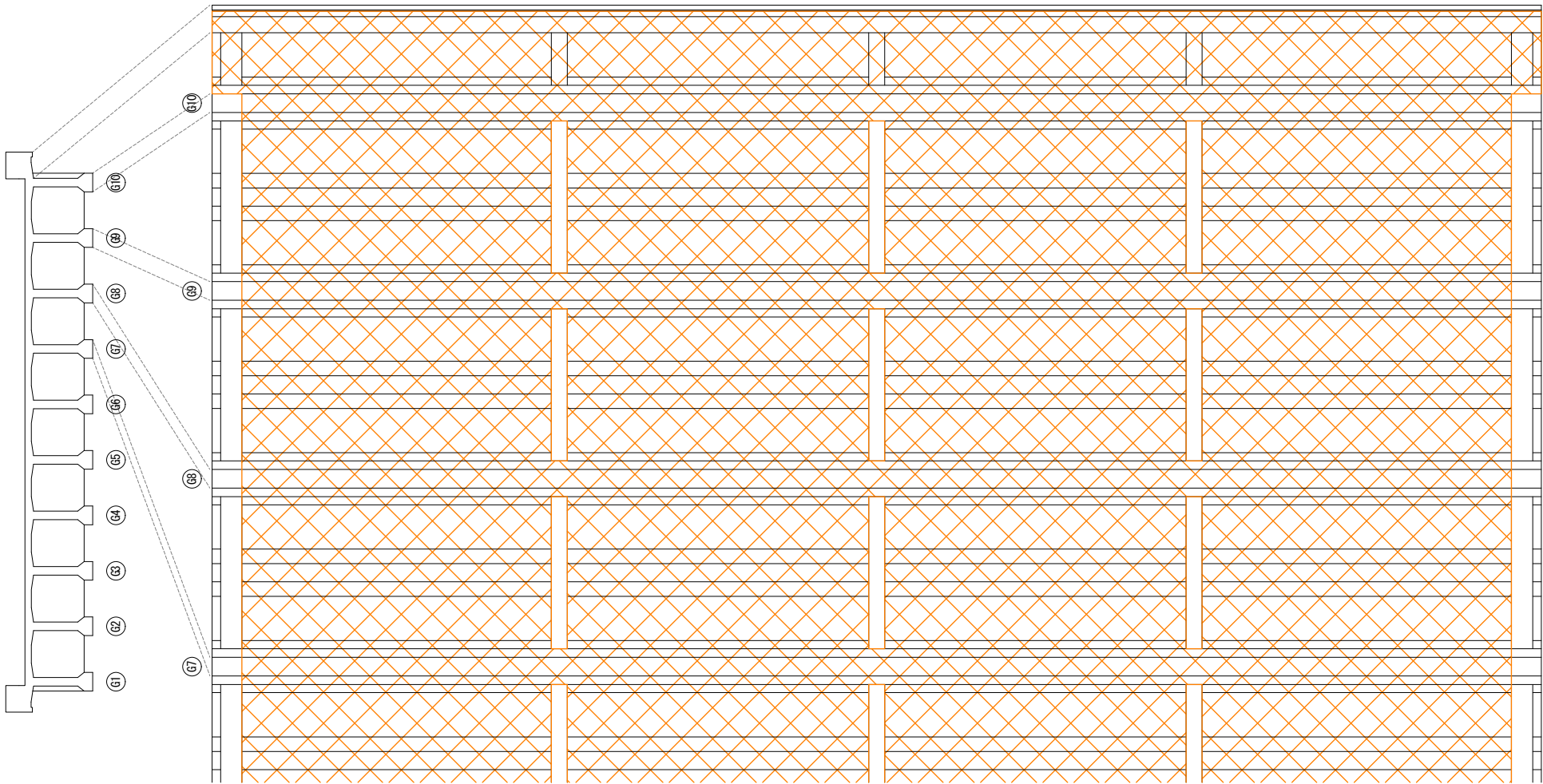
新舟川橋 補修詳細図(その7)

S=1:40

表面保護工
下面(主桁・横桁・床版)

A2

A1



凡例

工 種	補修記号
表面保護工	〰〰〰

補修数量総括表(上部工)

工 種	規 格	単 位	数 量
表面保護工	シラン系	m2	832.6

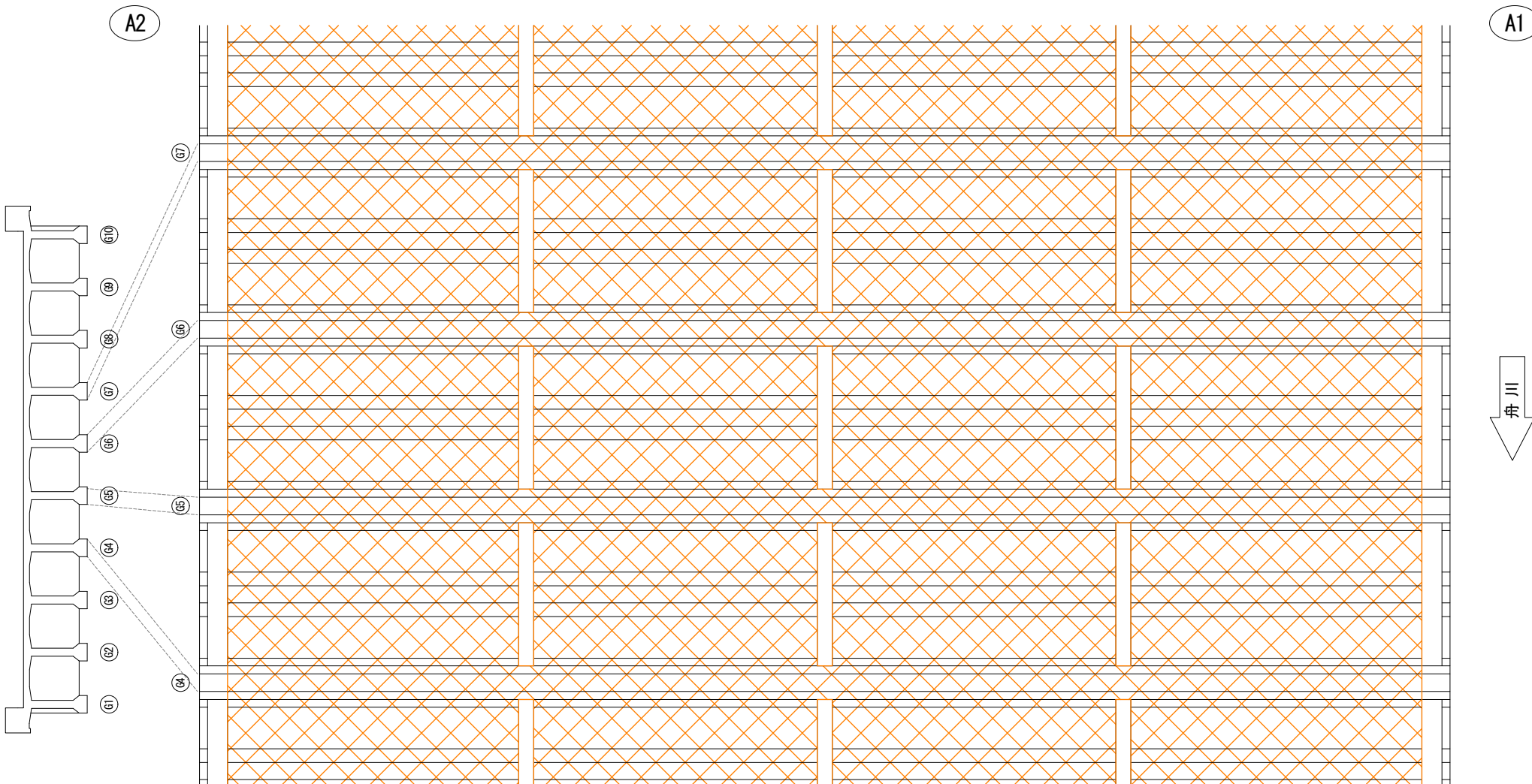
注記
1. 施工にあたっては詳細調査を実施し、補修数量・現地形状を再確認し、
各種補修工に反映すること。

令和 4 年度 第 号	
舟見横断線(新舟川橋)橋梁補修工事	
下新川 市 入善 町 舟見 地内	
工 事	
新舟川橋 補修詳細図(その7)	30 葉中
縮 尺 1/40	第 21 号
令和 4 年 2 月 日 製 作	
入 善 町	

新舟川橋 補修詳細図(その8)

S=1:40

表面保護工
下面(主桁・横桁・床版)



凡例

工 種	補修記号
表面保護工	

注記)
1. 施工にあたっては詳細調査を実施し、補修数量・現地形状を再確認し、
各種補修工に反映すること。

令和 4 年度 第 号	
舟見横断線(新舟川橋)橋梁補修工事	
下新川 市 入善 町 舟見 地内	
工事	
新舟川橋 補修詳細図(その8)	30 葉中
縮 尺 $\frac{1}{40}$	第 22 号
令和 4 年 2 月 日 製 作	
入 善 町	

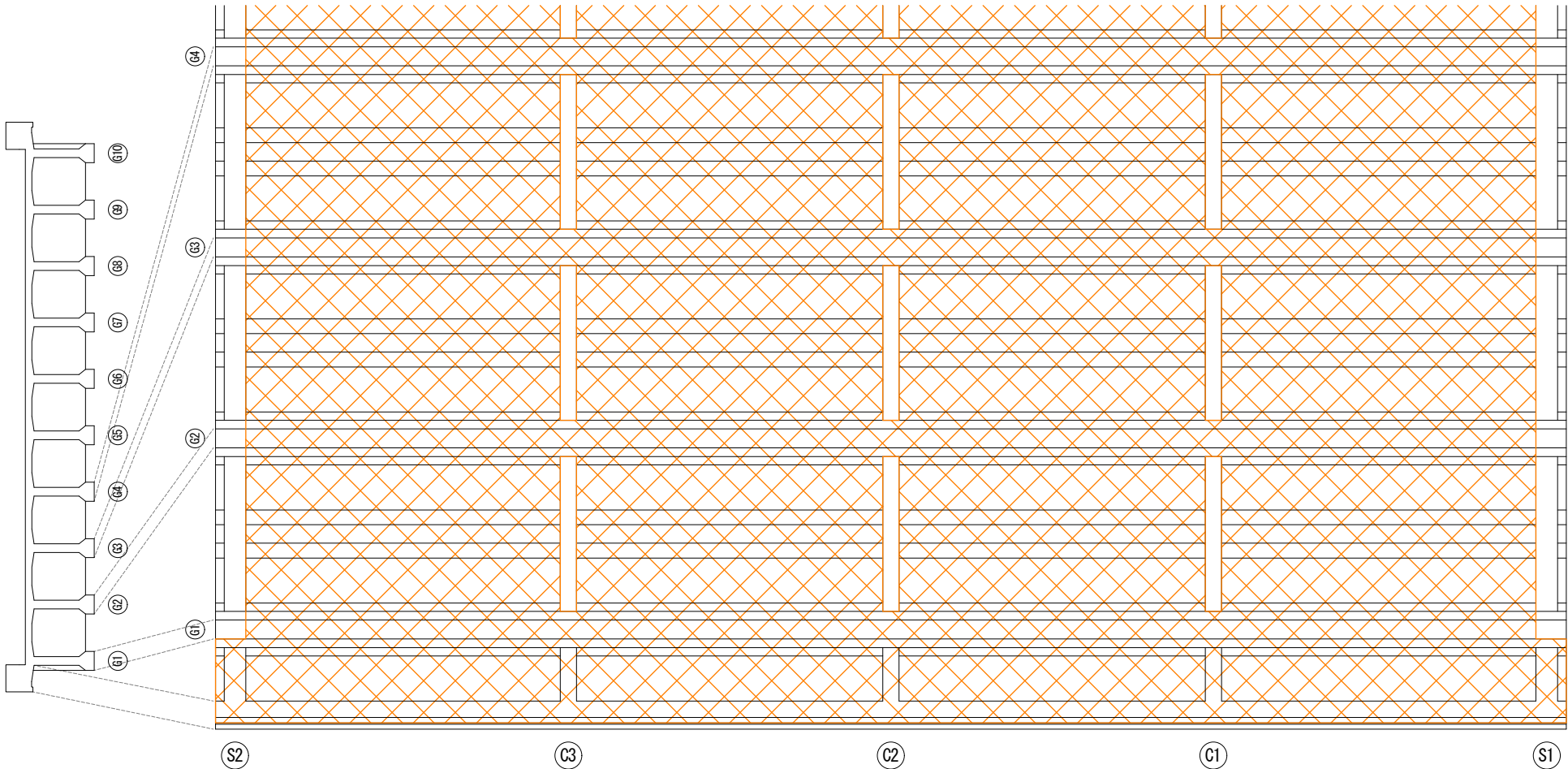
新舟川橋 補修詳細図(その9)

S=1:40

表面保護工
下面(主桁・横桁・床版)

A2

A1



凡例

工 種	補修記号
表面保護工	

令和 4 年度 第 号	
舟見横断線(新舟川橋)橋梁補修工事	
下新川 市 入善 町 舟見 地内	
工事	
新舟川橋 補修詳細図(その9)	30 葉中
縮 尺 $\frac{1}{40}$	第 23 号
令和 4 年 2 月 日 製 作	
入 善 町	

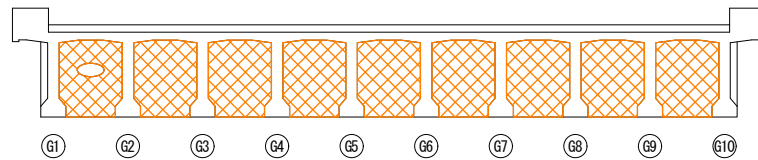
注記
1. 施工にあたっては詳細調査を実施し、補修数量・現地形状を再確認し、
各種補修工に反映すること。

新舟川橋 補修詳細図(その10)

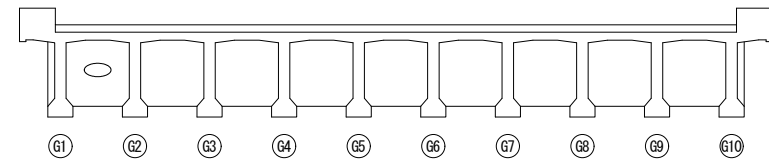
S=1:40

表面保護工
下面(横桁)

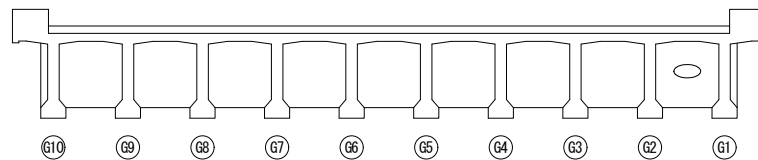
S2 (A1側)



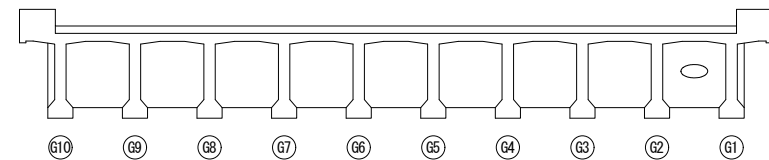
C2 (A1側)



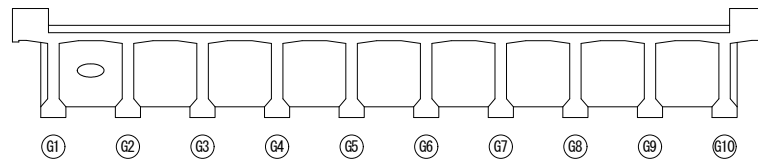
C3 (A2側)



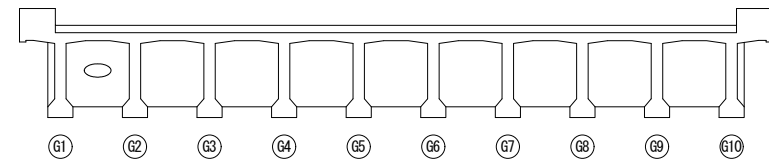
C1 (A2側)



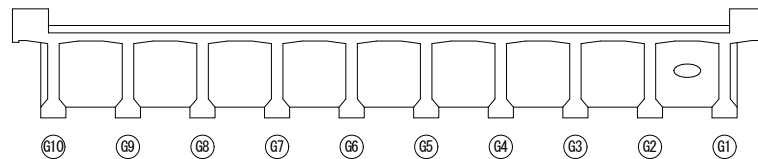
C3 (A1側)



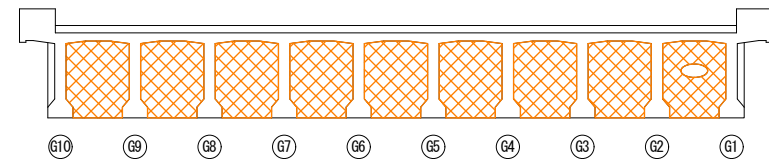
C1 (A1側)



C2 (A2側)



S1 (A2側)



凡例

工 種	補修記号
表面保護工	

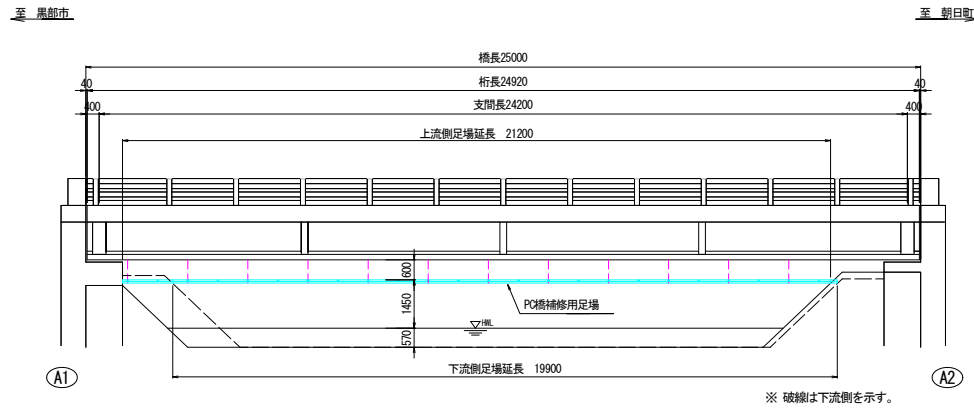
注記

1. 施工にあたっては詳細調査を実施し、補修数量・現地形状を再確認し、各種補修工に反映すること。

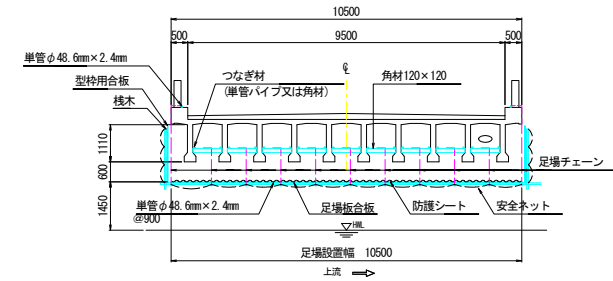
令和 4 年度 第 号	
舟見横断線(新舟川橋)橋梁補修工事	
下新川 市 入善 町 舟見 地内	
工事	
新舟川橋 補修詳細図(その10)	30 葉中
縮 尺 1/40	第 24 号
令和 4 年 2 月 日 製 作	
入 善 町	

新舟川橋 足場工計画図(参考図)

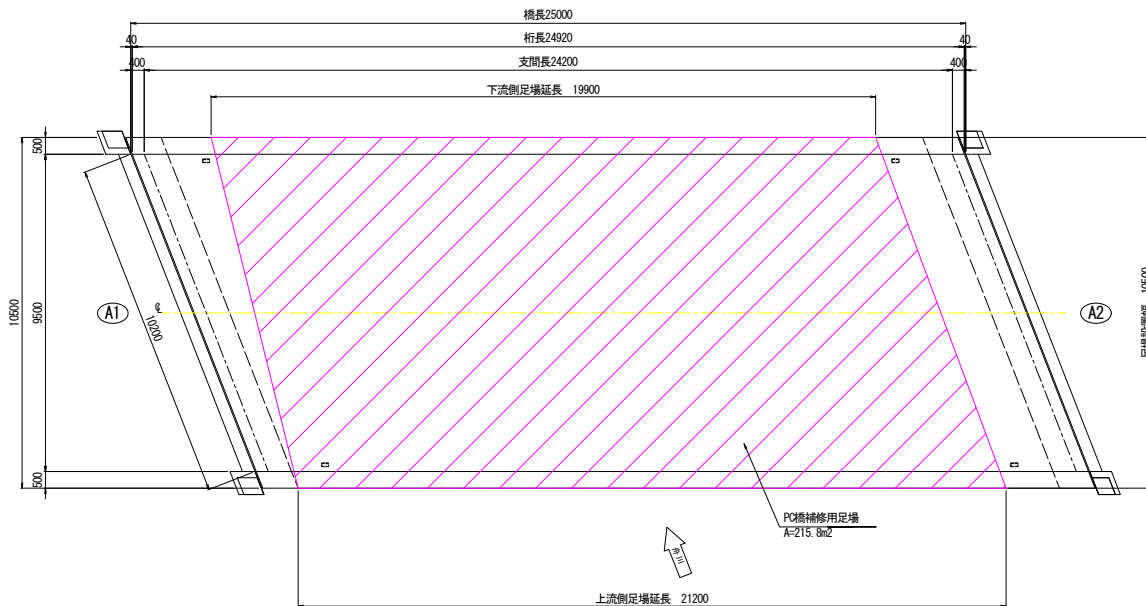
側面図 S=1:80



断面図 S=1:80



平面図 S=1:80

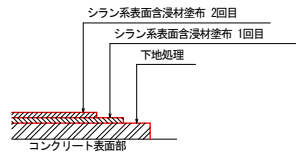


令和 4 年度 第 号	
舟見橋断線(新舟川橋)橋梁補修工事	
下新川 市 入善 町 舟見 地内	
工事	
新舟川橋 足場工計画図(参考図)	30 葉中
縮 尺 1/80	第 30 号
令和 4 年 2 月 日 製 作	
入 善 町	

新舟川橋 補修詳細図(その11)

表面保護工

表面保護工



シラン系表面含浸材の品質規格

要 求 性 能	評 価 項 目	試 験 方 法	評 価 基 準 値
表面含浸材に要求される基本的性能	外観変化	JSCE-K521-2004	外観変化なし、わずかに変化、著しい変化のいずれか
	含浸性	JSCE-K521-2004	シラン系
コンクリート構造物の劣化を抑制する性能	中性化深さ	JSCE-K521-2004	中性化抑制率 10%以下
	塩化物イオン浸透抵抗性	JSCE-K521-2004	塩化物イオン浸透抑制率 80%以上
	透水性	JSCE-K521-2004	透水抑制率 80%以上
	吸水性	JSCE-K521-2004	吸収抑制率 80%以上
	酸素遮断性	JSCE-K521-1999	$3.0 \times 10^{-14} \text{ mol/m}^2 \cdot \text{s} \cdot \text{pa}$
	水蒸気透過性	JSCE-K521-2004	透水比 80%～60%

※出典：表面保護工法 設計施工指針(案)
(土木学会)

劣化要因に対する抑制率〔I〕
 $RPi = (\text{③試験体の性能} \div \text{①試験体の性能}) \times 100$
 $Ii = 100 - RPi$
ここに、 Ii：各劣化要因に対する抑制率(%)
 RPi：原状試験体に対する各性能の比(%)

令和 4 年度 第 号	
舟見横断線(新舟川橋)橋梁補修工事	
下新川 市 入善 町	舟見 地内
工事	
新舟川橋 補修詳細図 (その11)	30 葉中
縮 尺 $\frac{1}{50}$	第 25 号
令和 4 年 2 月 日 製 作	
入 善 町	